

学校自己評価システムシート

学校自己評価システムシートは、「学校自己評価」と「学校関係者評価」を2本柱として、重点目標実現に向けた学校の教育活動に対する評価を表すものです。学校自己評価欄では「年度目標の設定（Plan）」と「年度評価（Check & Action）」から構成し、年度目標（評価項目）ごとに達成度をまとめます。学校関係者評価欄では、学校評価懇話会での学校自己評価結果に対する意見・要望や評価を記述することがポイントです。

(別紙様式)

(A3判横)

令和 年度 学校自己評価システムシート (県立 学校)

目指す学校像	
重点目標	1 2 3

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

番号	現状と課題	年度目標	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	年度評価(月日現在)	
						評価項目の達成状況	達成日
							次年度への課題と改善策

シートはウェブサイトからダウンロード
<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/gakkouhyouka/gakkouhyouka-kensyusiryou.html>

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

学校関係者評価
 各評価項目ごとに学校が自らその達成状況を評価した自己評価結果に対して、学校評価懇話会で出された意見や要望、**自己評価に対する評価(達成度が妥当であるか否かなど)を評価運営委員会がまとめます。**
 当該年度最終回の学校評価懇話会**実施日**と**出席者構成**を明記します。

達成度
 評価項目ごとにまとめた達成状況を**年度目標に対する達成度**として、**学校が自ら評価したその達成度合いをABCDで表します。**

目指す学校像
長期的な視点から、学校が地域や保護者から**期待され、信頼される学校の姿を分かりやすく**設定します。
 その際、学校の歴史だけでなく、生徒の実態や地域の期待を踏まえることが大切です。

重点目標
 目指す学校像実現に向け、**中期的な視点**で目標の重点化を行います。
 「授業改善を始めとする学力向上に関する取組」「開かれた学校づくりの取組」を視点とする内容を学校の実態に応じて設定します。その他の目標も含め、**3~4個の重点化が適切**です。

現状と課題
 重点目標ごとの現状と課題をまとめます。
 現状の羅列にならず、現状の**課題、前年度から継続する課題を明確に記述**することが重要です。
 番号は重点目標と対応させます。

評価項目の設定
 重点目標に対する課題を解決するために、**年度目標として評価項目を設定**します。
 一つの重点目標に対して、評価項目を複数設定しても構いません。
その年度に重点化した達成目標が評価項目というわけです。

具体的方策の策定
 評価項目ごとに**年度達成目標のための方策を分かりやすく具体的に策定**します。
 一つの評価項目に対して**2~4個程度の方策**が目安です。
 ①、②、…と番号で示すと分かりやすくなります。

方策の評価指標
 具体的方策に対応して、**方策の達成状況が把握できるように評価指標を分かりやすく設定**します。
 対応する方策ごとに、①、②、…と番号で示し、対応関係を明確にします。

評価項目の達成状況
 個々の具体的方策の実践経過をもとに、**評価指標に基づいた達成状況**を記述し、これらを総合的にまとめて、**評価項目全体としての達成状況**をまとめます。
 方策がどのように機能したかが分かるように簡潔に表現します。
年度評価としてまとめた月日を明記します。

次年度への課題と改善策
 評価項目ごとにその達成状況を踏まえて、**次年度へ継続する課題やさらに改善していくための方向性**などについて、簡潔にまとめます。
 次年度の**評価項目設定や具体的な方策の設定**に対する学校の方向性を示すと、分かりやすくなります。